

まちぐみ展2



まちぐみで

何だ???

あやしいものでは
ございません。



【まちぐみ展2 ☆特別企画】

まちぐみの2年半を写真とトークで
振り返り、これからを共有する
「ザ・スライドショー」
振返り、これからを共有する
「ザ・スライドショー」
3月11日(土) 13時30分から
3月12日(日) 10時から
はっちシアター1 入場無料
アートスペース 山本耕一郎
コトナイター 柳沢拓哉

3月7日(火)～20日(月・祝)

ギャラリー1 & はっちシアター1
9時～21時 10時～18時

※休館日 14日(火)

特別展示

八戸せんべい汁研究所
十八日町商店会

まちぐみラボ

自分の居場所や存在意義をゆつくりと感じ取り、新たな自分を発見することができると、足し算やかけ算になったりしながら、誰も予期しなかった無数の芽を出そうとしています。それはいつか社会を変え、芽になるかもしれない。地域の人たちが気楽に参加できて、生き方が豊かになるようなプログラムを、今後も生み出していこうと思っています。

学生×まちぐみ

若者流出が止まらない中、いま八戸に在るポクたちに行けることは、外に出て行く前の若者が、学校外の大人たちと触れ合いながら共に活動できる「場と機会」をたくさん用意することだと思っています。なぜなら、その結果、まちで気軽にあいさつできる人や立ち寄れるお店がたくさんできて、それがこのまちへの愛着、親近感、安心感を育み、「八戸っていいなあ」と思ってくれる若者が増えていくと思うからです。

十八日の市

十八日町にまちぐみラボを開設以来、少しずつまちの皆さんと触れ合う機会も増えました。よそ者の目線でまちのナマの声を聞かせていただく、さまざまなお話を加えて可能性も感じられます。できることや、できそうなことから一緒にやりましょう！と実際に動き出したのが「十八日の市」の復活です。3月18日（土）は十八日町へぜひ！

十八日町商店会
180円 1800円

八戸せんべい汁 研究所×まちぐみ



ビーグルランプリを作った八戸せんべい汁研究所さんは、まちぐみのお手本的存在です。昨年末、幸運にもBリーグランプリスペシャルの東京に参加させていただけました。6年前に八戸でも活躍した「うわさバジ」を1万枚、汗研さんや大学生などと一緒に作成し、八戸をアピールしてきました。市民団体同士の横の連携は、まちにとって大切なことだと思っています。



アーティスト山本耕一郎と一緒に、まちに“なんか楽しそう”をつくりだす市民集団「まちぐみ」今年の成果大集合！

南部菱刺し Neo

体験できます



「奇数目」刺すのがこぎん刺し、「偶数目」刺すのが南部菱刺し。ともに生活の知恵として生まれ、たすばらしい伝統。そこにゆるくふれてみる入口のような場。それが「南部菱刺しNeo」です。気楽にやってみるとが伝統を引き継ぐキッカケになれるといいなと思っています。

開運手袋



蕪嶋神社では、「神の使い」ウミネコのフンが運よく？命中すると縁起がいいと言われ「会運証明書」がもらえます。そんなユニークな発想を見習った開運手袋は、すでに良い手相が印刷済み。履くだけで開運まがいなし？

八戸アクセサリー

体験できます



まちぐみでは、八戸をテーマに、南部せんべい型の指輪やブローチなどユニークなアクセサリーを作成しています。八戸の新名物に認定も近い？せんべいアクセサリーの制作体験コーナーあります。

斬新！南部せんべい



昨年度、南部せんべいのパッケージを考えるワークショップをしたときの作品です。新しいデザインも少し増えました。南部せんべいの世界には、まだまだできることがたくさんあると思います。市民が作った斬新なデザインをお楽しみください。

なまってるシリーズ

「方言やなまり」は、地域の宝です。転勤族など家庭の都合で標準語を使っている人たちにとっては、とてもうれやましいことです。汗研のみなさんが各地で八戸なまりをきだしても胸を張って八戸をアピールする姿が好意的に感じられているのもうなずけずけです。

やわたらうま

体験できます

世界にひとつだけの八幡馬がほしい！というシンブルな想いから、いつでも絵付け体験ができる状況をつくりました。あなたオリジナルの八幡馬をつくってみませんか？

八戸は、美人が多いですが、なまってるらしいよ。